日刊 動労千葉

79.2.17

No.号外

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部
千葉市要町二－九（動力車会館）
（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

# 家族の皆さんに訴えます

家族の皆さん、つね日頃組合発展の為物心両面にわたる協力ありがとうございます。さて、中央本部・革マル派及びそれに追ずいする一部反動分子による、千葉地本排除－組織破壊の攻撃は、二月一四日をもって千葉地本の存在を否定して、組合の指示連絡、情報等を直接千葉地本組合員宅へ電話するなり郵送するなどといい出してきました。一方、後述するように動労の現状を憂いた、全国の仲間達も「千葉地本を守れ」と闘いに起ちあがっています。こうした状況を認識されて、私達が主張する労働者のためになる組合に動労を改革するために家族の皆さんの協力を切に訴えます。

## いま、私達の職場で何が起っているか？

家族の皆さんは、「組合は仲好くしていかなければならないのになぜ、中央本部と千葉地本は仲好くできないのか」という疑問を持たれていると思います。

私達もそうしたいと考え、こんにちまであらゆる努力をはらってきたのです。しかし、現実は、中央本部は、主に次の理由をもって千葉地本を動労から排除し私達の団結を破壊し、生活を破壊しようとしているのです。

その第一の理由は、

千葉地本は、三里塚農民を支援してきました。それは一度たりとも話がないままに農地を空港建設のために力づくで奪われることに抵抗し、農地と生活を守るために、一三年間にわたって家族ぐるみで闘っている姿にうたれ、この人々に敵対してはならないと考えたからです。

しかし、中央本部は突然、千葉地本と三里塚農民は絶縁し敵対関係になれというのです。

昨日までの仲間を理由もなく絶縁だと誰がいえるでしょうか。

家族の方々には、三里塚闘争に対し様々な意見をおもちかも知れません。けれども、千葉県に働く労働者として、ひとりの人間として地元三里塚農民の苦しみを無視し足げにすることは人の道から外れることであると考えます。

私達は労働組合として悪政に苦しむ多くの人々と共に手をつなぎ闘うことこそが労働者＝労働組合の役割であると考えるからです。

第二の理由は、

貨物合理化をはじめとした国鉄大合理化攻撃を認めてしまうことを私達におしつけてきたのです。

それは、機関助士廃止合理化以来の大合理化攻撃に対して闘わず労働強化、首切り攻撃、機関区廃止、低賃金で我まんして認めろということなのです。

千葉地本は、こんにちまで「一人は万人のため、万人は一人のために」を合言葉に、合理化や首切り攻撃に反対して運動を進めてきた結果、一〇年前と比較にならない程の全国の中でよりよい職場労働条件をかちとってきました。このことは、労働組合としては当然なことであります。

この当然なことを、行わない労働組合は、労働組合に値しないのです。

第三の理由は、

動労に水本運動なるわけのわからないデマ運動をもちこみ、革マル派というセクトの組合支配を「本部」自らが認める事態となりました。このように一セクトの運動を行うことは、本来の労働運動の目的から外れるからです。

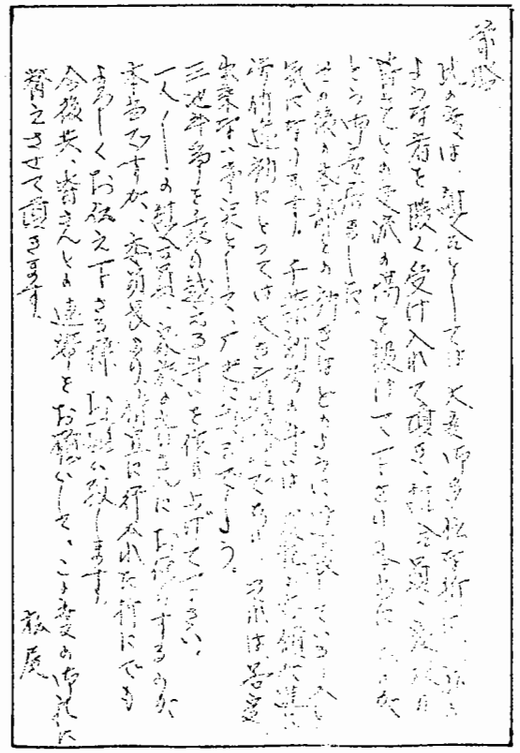
第四の理由は、

こうした誤った運動に対して当然のこととして批判する千葉地本の団結体＝組織を破壊しようとする「本部」・革マル及びそれに追ずいする反動分子の卑劣な攻撃は許せないからであります。これでおわかりのとおり「長いものには巻かれろ」式の考え方では、千葉地本一四〇〇組合員、家族の現在と未来はないのです。

こうした動労の現状を憂いて全国の仲間達も闘いにたちあがっています。

千葉地本も、全国の仲間と力をあわせ、動労を真の労働組合に改革する為に家族ともども力を合わせてがんばりましょう。

これが私達の職場と生活を守る道でもあります。

## 動労千葉の組合員、家族の皆さんへ……

**三池家族会の松尾さんからの手紙（一月三〇日）**